

県内の経済雇用情勢と施策の実施状況について (平成23年11月)

企業活性化・雇用緊急対策本部

1 県内の経済雇用情勢について

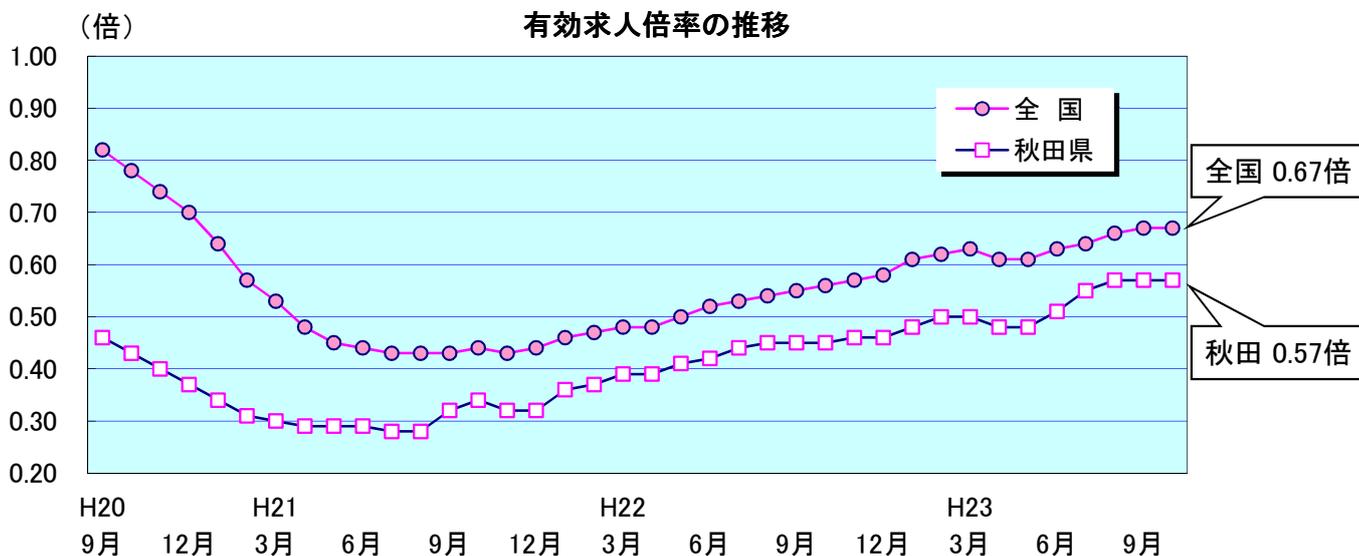
- ◆ 県内経済は、東日本大震災の影響が解消しつつある中、一部の製造業で海外需要の落ち込みや円高による影響がみられ、持ち直しの動きが緩やかになっている。
- ◆ 10月の有効求人倍率は0.57倍となり、一部に持ち直しの動きがみられるものの厳しい状況が続いている。

1) 県内経済動向調査結果 (平成23年10月分)

製造業	自動車関連で持ち直しの動きがみられるが、電気機械を中心に海外需要の落ち込みや円高による影響がみられる。
建設業	公共投資が依然として前年度割れとなっており、全体として弱めの動きが続いている。
小売業	家電品で薄型テレビ等の駆け込み需要終了による売上の反動減が続いている。
サービス業	旅館・ホテル業で宿泊部門に持ち直しの動きがあるものの、婚礼や宴会部門が落ち込んだ。

2) 有効求人倍率 (平成23年10月)

0.57倍 (前月と同水準)



3) 離職者の状況 (平成23年11月)

- ◆ 平成23年11月 : 0社 0人 (前年同期比 ▲3社、▲35人 / 前月比 ±0社、±0人)
 - ◆ 今後の見込み : 3社 262人
- ※1社10人以上で、労働局、企業訪問等からの情報により把握した離職者数

2 平成24年3月新規高卒者職業紹介状況 (平成23年10月31日現在、秋田労働局発表)

- ◆ 県内就職希望者数 : 1,619人 (前年同期比 + 71人、+ 4.6%)
- ◆ 県内求人数 : 1,579人 (前年同期比 + 238人、+17.7%)
- ◆ 県内就職内定者数 : 900人 (前年同期比 + 72人、+ 8.7%)
- ◆ 県内求人倍率 : 0.98倍 (前年同期比 + 0.11ポイント)

